





★乳幼児の特徴が事故につながります。

子どもの発達と 家庭で 起こりやすい 事故

子どもの死亡で一番多いのは、事故によるものです。特に乳幼児の場合、家の中での事故が目立ちます。その理由は赤ちゃんの発達段階に応じた特徴にあります。

たとえば、頭が大きくて重いのでバランスを崩す。何でも口に入れる。怖いもの知らず。大人のみねが大好き。突然飛び出したり、行きたい方向へまっしぐら。好奇心が強くじっとしてられない。などが特徴です。そこで成長に応じて表れる赤ちゃんの行動や興味の持ち方をあらかじめ知っておくことは事故防止に役立ちます。もし万が一事故が起きたとしても慌てないで、落ち着いて応急処置をし、病院に連絡しましょう。

●子どもの発達と事故例一覧表

	誕生	3ヵ月	4ヵ月	5ヵ月	6ヵ月	7ヵ月	8ヵ月	9ヵ月	10ヵ月	11ヵ月	12ヵ月	1歳半	2歳	3～5歳	
運動機能の発達	おもちゃを握る 足をバタバタさせる		見たものに手を出す 口の中にも物を入れる		寝返りをうつ	すべてが好奇心の対象	座る	指で小さなものがつかめる	家具につかまり立ちする		一人歩きする	走るのぼる	階段をのぼりおりする	高い所へのぼれる	
転落	ベッド・ソファからの転落						階段からの転落	バギーやショッピングカート・椅子からの転落			階段ののぼりおりの転落	窓、ベランダからの転落	すべり台 ブランコ		
切傷打撲			床にある鋭いもの 鋭い角のあるおもちゃ		鋭い角の家具・建具		カミソリ いたすら			鋭いテーブルの角、ドアのガラス、 ドアに手をはさむ、引き出しの角など		屋外の石など			
やけど	熱いミルク 熱い風呂		食卓・アイロン・電気ポット				ストーブ ヒーター				マッチ、ライター 湯沸かし器、花火				
誤飲窒息	マクラ・柔らかいふとんによる窒息		何でも口に入れる		たばこ、小さなおもちゃ 電池、ボタンの誤飲		よだれかけ ひも、コード		ナッツ、豆類		薬、化粧品 洗剤		ビニール類		
交通事故	自動車同乗中の事故		母親と自転車の二人乗り				道でのヨチヨチ歩きのとき				歩行中の事故		三輪車 自転車		
溺水事故	入浴時の事故		浴槽、洗濯機への転落事故						浴槽への転落				プール・川・海の事故		

1歳代では溺死が最も多い